

緑の風 FAX版



JR 東労組ホームページ

NO. 73 2019年1月29日 JR東労組

2019春闘スタート

職場から創意工夫したたたき出しを早く出せ!



1月28日に「労使フォーラム」が開催され、事実上の2019春闘がスタートしました。

JR東労組は18春闘の総括に踏まえ、全組合員と共に職場から19春闘をたたき抜いていきます!

経団連 年収ベースの賃上げ提案

連合 ベア2% + 定昇2%要求

経団連は二十八日、主要企業の労使が意見を交わす「労使フォーラム」を東京都内で開き、二〇一九年春闘が事実上スタートした。米中貿易摩擦で企業が先行きの不安を強める中、今年秋には消費税増税が予定されている。一方で政府は今回、企業に賃上げを求める「官製春闘」の動きを弱めた。「官」からの声小さくなる中、企業側が労組の要求を聞き、どこまで賃上げに応じるかが焦点になる。

（木村留美）

一九年春闘では、経団連は基本給を底上げするベア（ベース）を選択肢の一つと位置付け、ボーナスや手当を含む「年収ベース」での賃上げを提案している。一方、連合はベアの2%と定期昇給分の2%を合わせ、計4%程度の賃上げなどを要求。双方の賃上げ手法をめぐり、隔たりは大きい。

経団連の中西宏明会長は「労使フォーラムであいさつし、多様な方法による年収ベースの賃金引き上げや総合的な処遇改善を検討いただきたい」と、会員企業にベアアップ（ベア）賃上げの手法の一つで、社員の基本給の水準を一律に引き上げること。勤続年数に応じて賃金が上がる定期昇給（定昇）や、業績を反映して柔軟に増額・減額できるボーナスを区別される賃金体系全体を底上げするベアは、将来にわたる人員費が増える要因となるため、経営側は実施に慎重な傾向がある。ベアの水準は物価の上昇などを参考に決めている。

2019 春闘

Keidanren Policy & Action

具体的方針は、2月8日に開催される第45回定期中央委員会で提起して決定してまいります。

トヨタ労組は1万2000円要求

一時金は6.7カ月分

トヨタ自動車労働組合（西野勝義委員長、約六万九千人）は二十八日、二〇一九年春闘で、定期昇給やベアアップ（ベア）に相当する賃金改善分を合わせ、期間従業員らを含む全組合員一人平均で一万二千円の賃上げを要求する執行部案を発表した。全組合員ベアの昨年回答水準（一万一千七百円）を上回る。年間一時金（ボーナス）も満額回答だった前年（六・六カ月分）を超える六・七カ月分を求める。

呼び掛けた。今春闘では中西氏がたびたび「官製春闘」と呼ばれることに不快感を示したため、安倍晋三首相は具体的な賃上げ率に触れず「賃上げをお願いしたい」と述べるにとどめている。労使は今回「官製春闘」からの脱却を模索することになる。

一方、連合の神津里季生会長は二十八日の講演で「一時金も大事だが、中小企業には（一時金）ない」と述べた。

呼び掛けた。今春闘では中西氏がたびたび「官製春闘」と呼ばれることに不快感を示したため、安倍晋三首相は具体的な賃上げ率に触れず「賃上げをお願いしたい」と述べるにとどめている。労使は今回「官製春闘」からの脱却を模索することになる。

一方、連合の神津里季生会長は二十八日の講演で「一時金も大事だが、中小企業には（一時金）ない」と述べた。